

化等を把握・データベース化し、養殖業や磯根資源等への影響評価手法を開発するとともに、有効な適応策を検討します。

【地球温暖化による沿岸漁場環境への影響評価・適応策検討調査 98(0)百万円】

#### (4) 適応策に関する技術開発

生産現場において短期的に解決すべき高温障害等に適応する生産安定技術等の開発を行います。

【地球温暖化が農林水産業に及ぼす影響評価と緩和及び適応技術の開発のうち

地球温暖化が農林水産業に与える影響評価・地球温暖化に適応するための技術開発

491(117)百万円】

## 2. 国際協力の推進

### (1) 違法伐採対策等の持続可能な森林経営に向けた取組

2次元バーコードによる木材トレーサビリティ技術の現地実証を行い、木材生産国において早急な対策が求められている違法伐採問題への対策を推進します。

【木材追跡システム実証事業 32(0)百万円】

### (2) 森林減少・劣化対策の推進

衛星画像等によって途上国の森林資源動態の要因分析や経年変化を把握できるモデルの開発を行います。また、技術移転や途上国での人材育成を通じて、森林減少・劣化問題に取り組みます。

【熱帯林資源動態把握支援事業 40(0)百万円】

## II 地球温暖化対策に関する平成20年度税制改正要望の概要

京都議定書の削減約束達成に向けて、森林による吸収量1300万炭素トンの確保及びバイオ燃料の利用促進を図るため、平成20年度税制改正要望において以下のとおり要望を行う。

### <森林吸収源対策推進のための税制度>

① 地球温暖化対策を推進するため、既存の税制との関係等に考慮を払いながら、納税者の理解と協力を得つつ、環境税についての総合的な検討等を進めた上、必要な税制上の措置を講ずること

② その税収の使途に森林吸収源対策を明確に位置付けること

### <バイオ燃料の利用促進>

① バイオエタノール混合ガソリン及びバイオディーゼル燃料混合軽油に係る軽減措置の創設(揮発油税・地方道路税・軽油引取税)

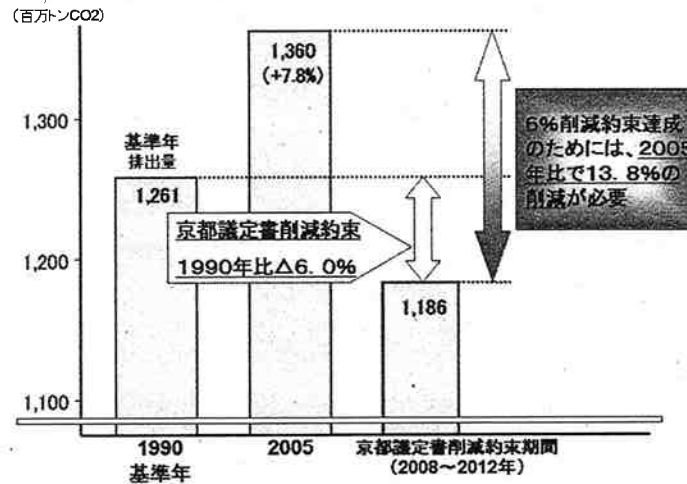
② バイオ燃料の生産及び利用拡大に関する特例措置の創設等(所得税・法人税・固定資産税)

# 農林水産省地球温暖化対策総合戦略の推進

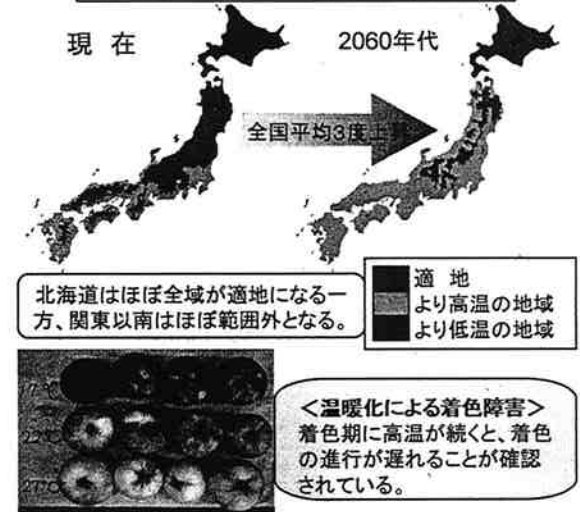
## 地球温暖化問題の現状

- 京都議定書6%削減約束の達成は難しい状況
  - ・ 2005年度は基準年比で約7.8%増加
- IPCC(気候変動に関する政府間パネル)報告書
  - ・ 地球温暖化は加速的に進行していると断定
  - ・ 農林水産業にも深刻な影響が生じると予測
- 世界全体で地球温暖化対策を推進する必要

我が国の温室効果ガス排出量の推移



温暖化によるリンゴの栽培適地の移動



## 農林水産省地球温暖化対策総合戦略の策定(平成19年6月)

### I 地球温暖化防止策

#### ①削減目標値の達成に向け施策を加速化

- ・ 森林吸収源対策
- ・ バイオマス資源の循環利用
- ・ 食品産業等の環境自主行動計画

#### ②新たな削減目標値の設定と達成に向けた施策を推進

- ・ 施設園芸・農業機械の温室効果ガス排出削減対策
- ・ 環境保全型農業の推進による施肥量の適正化・低減
- ・ 漁船の省エネルギー対策

#### ③その他の排出削減の取組を推進

### II 地球温暖化適応策

#### ①地球温暖化適応策の推進

- ・ 既存技術の生産現場への普及・指導
- ・ 新たな技術の導入実証
- ・ 影響評価に基づく適応策の検討

#### ②技術開発等の推進

- ・ 生産安定技術の開発 (高温耐性品種の育成など)
- ・ 農林水産業への影響に関する予測研究
- ・ 影響予測に基づく適応技術の開発

### III 農林水産分野の国際協力

#### ①違法伐採対策等の持続可能な森林経営の推進

- ・ 違法伐採問題の解決に向けた取組
- ・ 途上国における持続可能な森林経営の推進に向けた支援
- ・ 国際ルールづくりへの積極的な参加・貢献

#### ②我が国の人材・技術を活用した協力

農林水産分野における対策を総合的に推進し、地球環境保全に積極的に貢献する農林水産業を実現